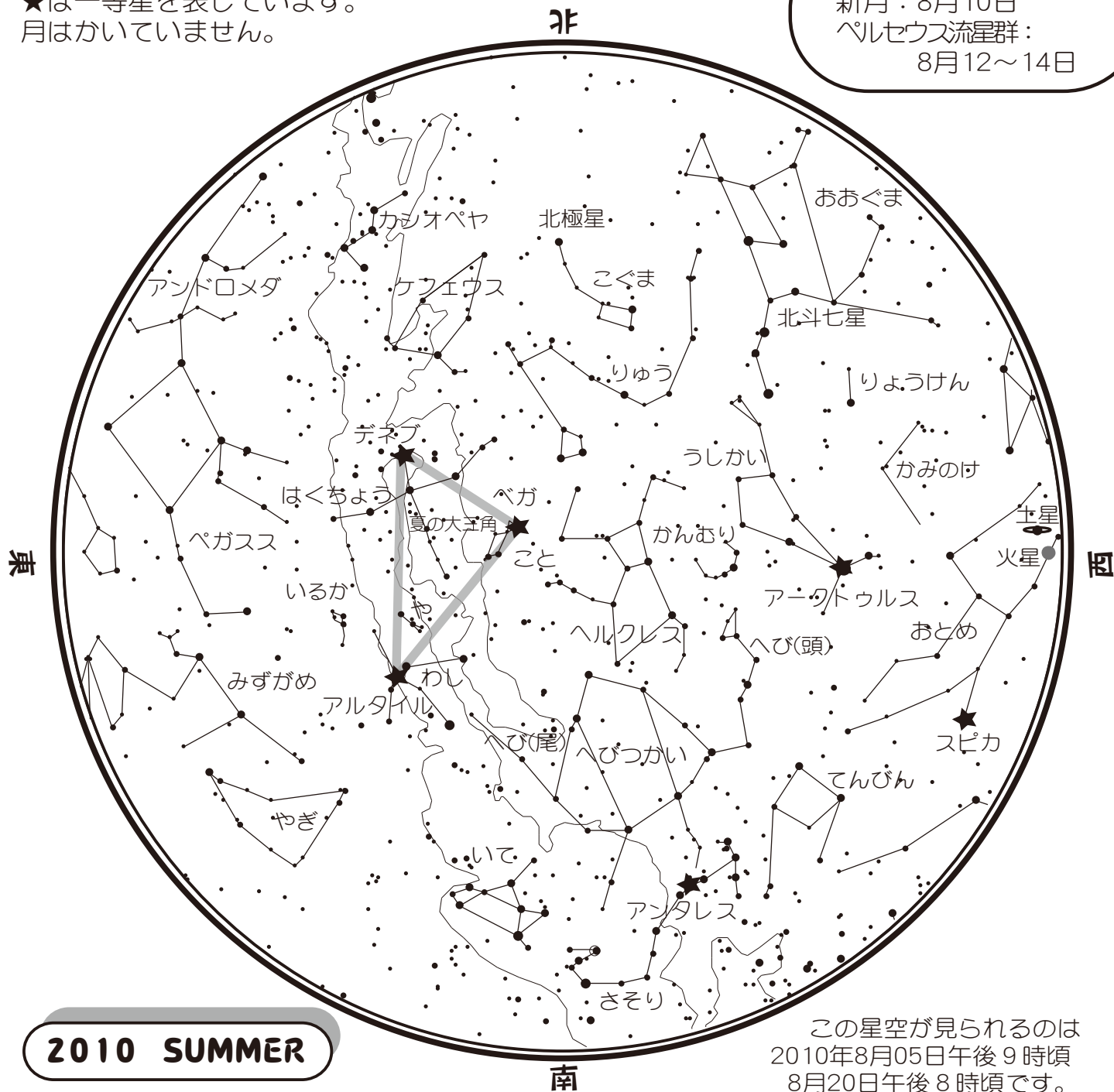


# ★ 姫路で見る8月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
 この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。  
 ★は一等星を表しています。  
 月はかいていません。

下弦：8月3日  
 新月：8月10日  
 ペルセウス流星群：  
 8月12～14日



**2010 SUMMER**

この星空が見られるのは  
 2010年8月05日午後9時頃  
 8月20日午後8時頃です。

夕暮れの西の空では一番星の宵の明星、金星が輝いています。近くには太陽系の惑星の仲間である水星、土星、火星も見つけることができます。

頭の上にはこと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブを結んでできる「夏の大三角」が見えています。南の地平線近くの空には、ティーポットのような星並びのいて座、釣り針のような星並びに赤い星アンタレスが心臓で輝く、さそり座があります。この辺りは星が多く集まり、天の川でも最も濃く見えるところです。天の川は、私たちの住む銀河系の姿です。夏休みのお出かけ先で、天の川を探してみてください。

また、毎年8月12日～14日頃にはペルセウス流星群が見られます。周りに明かりの少ない景色のひらけた場所で流れ星を数えてみましょう。